

# 連珠っておもしろい

## 九段 河村典彦

### ● 第65回 ●

#### ■ さよなら、ドイツ!

いよいよ、ドイツを去ることとなった。こちらに来てから3年半、長いようで短かったドイツであった。こちらに来てからの連珠遠征を振り返ってみると、

#### ① スウェーデン5回

4年連続で出場したエストニアとのチーム戦が大きかったが、ヨンチョピングで行われた世界戦にも参加

#### ② エストニア4回

ここ2ヶ月で2回のハイペース。3度のカワムラカップですべて優勝した。

#### ③ ロシア2回

何と言ってもヨーロッパ選手権に出たのが印象深い

#### ④ ポーランド、チェコ、中国各1回

ハンガリーにも行くチャンスはあったが、五目で平

日だったので断念。中国は日本出張の帰りに立ち寄りという離れ業だった。

仕事の出張では全く違う場所である、イタリア、フランス、英国、トルコ、ベルギーに行くことができた。旅行で行ったオーストリア、地元のドイツを加えると、合計13カ国に行ったことになる。さらにトランジットだけならスイスとラトビアにも降り立ったことがある。日本にいたらまずこんなには行けなかっただろう。人生で得難い経験ができたのは確かである。

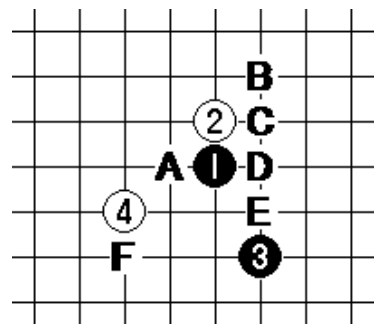
また、欧州に住んで価値観も少し変わったように思う。こちらでは物の価値より経験の価値の方が高い。旅行に行くのも日本人のように世界遺産を回ってお土産を買うのが目的ではなく、家族とのんびり過ごすのが目的である。極論を言えば、お金より時間の方が優先される。そういう意味でも連

珠を楽しむというのは、ワールドワイドに通用する趣味なのである。

さて、ここ最近いろんなルールで打っているが、先日モスクワで行われたラリクスというイベント(詳しくは連珠世界にて紹介)では、ヤマソフ5というルールで行われた。次期開局規定の最有力候補である。提示側が珠型と題数を指定すれば題数指定打ちに、珠型だけならソーソフルールに移行(上限5題)するということなのである。私が提示した時は必ずソーソルフに示した。その方が難珠型だけではなく、桂馬の珠型も多く打てるからである。例を示そう。

ソーソルフで山月を指定し、もし相手が交替した場合、白4の山おろしを打ち、四題を指定する。実際この方法で2局対戦している。黒を持たされたらA、Dの四か所を指定すればいいし、

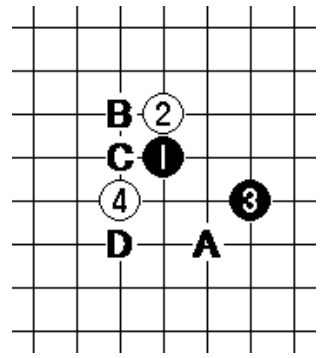
<ソーソルフルール1>



白なら黒の異着が期待できる。おそらく現在の選手ならほとんど経験がないので、EやFも候補に入れてくる。そうなるともう白必勝である。正確に4か所指定された時でも、相手の顔を見て、AやBを打たせる手もある。何しろこちらは二題打ちでずいぶん研究した実績がある。そういう経験を生かすのも策戦であろう。

また、題数指定打ちでは現れない新月もソーソルフなら打てる。白4はいろいろあるのだが、今回使ったのはこの白4。黒5はA、B以外にCやDでも打てそ

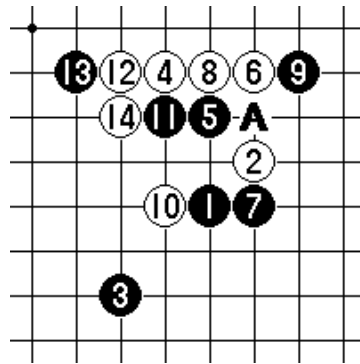
<ソーソロフルール2>



うなので、五角の戦いとして面白い。こういう変化になると、歴史のある日本の方が有利だと思うのだが、最近ではコンピューターですべて解かれてしまっているので、いずれはまた行き詰まるのだろう。

モスクワの翌週にはタリオンに行くことになった。その様子も連珠世界に報告するが、ルールはタラグチだった。それはそれでまた面白い。メシーラ君との一戦を見てもらおう。白2と打ってきたので、すかさず彗星を指定。これには相手も面食らったようで、白4で交替。私が白4の手を打つ

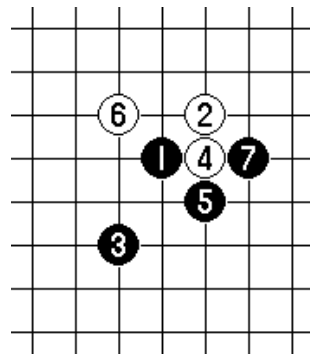
<黒:メシーラ>



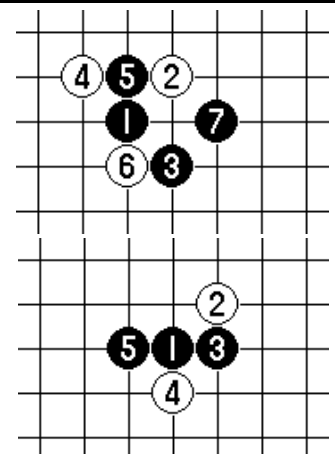
と、また深く考えだした。黒5を相手に打たせて考えるのが普通かと思うが、彼は黒5と打ってきた。これでどちらでも打てると思っただろう。

これなら白を取った方がよい。そして白6と外からまとわりつくように攻める。ここで黒が間違えた。黒7はAで以下難解な戦いが続く。この7はどう咎めたらいいかわからなかったが、黒8、10でいいようだ。黒11にも白14まで打って必勝形だ。以下単手数で白勝ちとなった。タラグチでもヤマソフでも彗星が打てる

ようになるので、今後もっと研究が進んでいくだろう。そうになると、他の珠型でも昔の常識が通用しなくなる。例えば、名月新月共通で黒5は黒必敗形と言われてきたが、黒7でまだまだ戦える。これからは常識を疑ってみた方がいい。



そう言えば、浦月で黒5も白6で難局と言われたが、黒7で黒必勝となることは研究済みだ。これも昔の基準なら難局なのだろうが、題数指定打ち以降のルールなら見方が変わってくる。さらに、雲月雨月共通の桂馬挟みで黒5と引く手も、昔なら黒絶対勝てないと言われただろうが、今やほぼ



黒勝ちが解明されそうである。本当に時代の進歩は速い。これからは山にこもってパソコンを片手に研究する時代になるだろう。

さて、欧州に住んだ経験上いろんなことを学んだが、これだけは言っておきたい。トラブルを解決するために、は3つしか方法がない。

①時間 ②お金 ③根性  
これは本当によく身にしみた。時間に余裕を持ち、お金で解決できることは金で済ませ、どうしようもない危機の時には根性を出さないと生き延びることはできない。「生きる」ということを学んだ3年半でもあった。